



新しい年もよろしくお願ひいたします。

遅ればせながら、新年のご挨拶を申し上げます。

あけましておめでとうございます。本年も図書館をどうぞよろしくお願ひいたします。

❖今年の干支は「亥」

干支といえば「子、牛、寅…」が思い浮かびますが、これは本来「十二支」で、「干支」ではないそうです。「干」にあたる十干（じっかん）と「支」にあたる十二支を組み合わせたものが「干支」で、2019年の干支は「己亥（つちのとい）」となります。

また、亥が「猪」なのは民衆が覚えやすいように動物を当てはめたからだそうです、次のようなお話があります。

神様が十二支を決めるとき、動物たちを競争させました。イノシシは猛烈に走って1番目にたどり着きましたが、まっすぐにしか走れないのでゴールを通り過ぎてしまい、戻ってきた時には12番目だった、というものです。なんだか微笑ましいですが、実際のイノシシの突撃は成人男性をも跳ね飛ばす威力だそうですね。近年は岩手や秋田県内に出没しているようですが、突撃される事態にはなりたくないものです。

図書館には十二支についての絵本や読み物のほかにも、干支をモチーフにしたあみぐるみの本や、イノシシ一家の写真絵本などもあります。それに、「かいけつゾロリ」では大活躍の双子のイノシシ、イシシとノシシも皆さんをお待ちしています。

❖今日は何の日？

1月11日は小正月行事としては「鏡開きをする日」。お雑煮やお汁粉で鏡餅を食べる日ですが、変わったところでは「樽酒の日」でもあります。こちらは樽酒の蓋を開けることも「鏡開き」ということから、2009年に奈良県の酒造メーカーが制定しています。

1月17日は「防災とボランティアの日」です。平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに、「災害時におけるボランティア活動および自主的な防災活動についての認識を深めること」「災害への備えの充実強化を図ること」を目的として制定されました。

先日、テレビの防災特集でヴァーチャル・リアリティを活用した避難訓練が紹介されていました。ヴァーチャル・リアリティとは現実ではないけれども、現実と同

じような機能や状況を再現する技術のことで、日本語では「仮想現実」とも訳されます。いまだ研究段階ではあるそうですが、放送では街の中に水が押し寄せてくる様子を再現し、みるみる押し寄せる洪水に体験していた方は「思うように逃げられない」と話していました。研究者の方は子どもたちがより真剣に避難訓練に取り組むよう役立てたいと仰っておられました。大人こそ体験するべきなのかもしれません。

大人の場合は、どうしても「今までここは大丈夫だったから」という先入観が捨てきれないと感じます。日常生活で使い慣れた場所であればあるほどそうなることは容易に想像できます。東日本大震災のときにも、いったん逃げたのに何かを取りに戻ってしまったり、逃げるのが遅れたりした方が多かったと聞きました。疑似的なものであっても「目で見て」「体験した」と感じることは非常に重要なのではないのでしょうか。

この技術が実際に活用できるまでにはまだ時間が必要ですが、「災害時にどうするか」を想像し、準備をすることは今からもできます。大館市でも災害マップがありますので、自宅や職場からどこへどう避難していくか、一度考えてみてはいかがでしょうか。

#### ❖新春落語会

1月16日（水）の13時から、図書館でホットタイムを行います。今回は市内在住の落語愛好家、暁亭さんせきさんによる「新春落語会」です。場所は栗盛記念図書館の多目的室。申し込みは不要です。

#### ❖冬の怖～いおはなし会

夏に続いて怖いお話をテーマにおはなし会をします。1月20日（日）の14時から、場所は栗盛記念図書館隣の松下村塾で行います。小学生くらいまでの方を対象にしていますが、今回は定員が30名となっています。ご希望の方は、事前に栗盛記念図書館へお申し込みください。

（栗盛・成）